

# 「碑の会」より

2014.11.11

事務局

〒046-0002

余市町登町636

菊地 大

T・FAX 0135-237343

「碑の会」よびかけ人の皆さん、賛同者の皆さん。

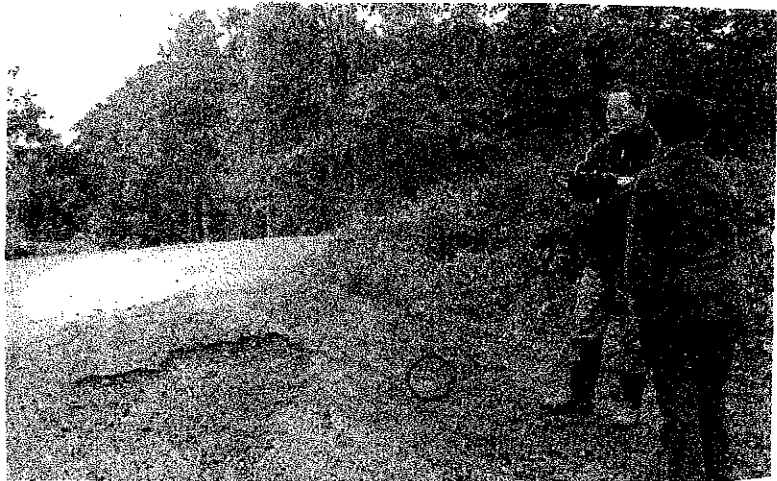
「ご協力いただいている「碑」の建立について、経過と現状をお知らせします。皆さんのご協力で、募金は二百万円に到達しました(目標二百五十万円)。大変ありがとうございます。」

碑の建立は「年内雪降る前に・・・」というお約束でした。しかし、建立場所についていろいろ問題が発生し、調査や関係者・専門家との打ち合わせを重ねてきました。そして十月三十一日、窪島さんと事務局の現地での打ち合わせで、「施工は来春、雪解けを待って」「場所は、当初予定の通り窪島さんの所有地を中心に町や業者と相談をする」ということになりました。

建設予定地は、窪島さんが十九年前に入手した泊原発真向かいの土地です。施工する石屋さんも決まり、実際に現地に当たってみると、境界線が一部判明できず、改めて測量してもらいました。その結果、隣接する道路が窪島さんの所有地に食い込んでいることが分かりました。さらに隣接する町有地などの雑木林が立て混んでいて、泊原発が俯瞰できないなど想定外の難しい条件も生まれてきました。

最も難しい問題は、そういう条件の下で、他の適地にも当たりましたが、いずれも「趣旨は理解するが、うちも北電さんのお世話になっているので・・・」と断られるという事態になったことでした。そのような事情で着工が遅れ、冬も直前でありましたので前述のように一定の結論を出し、関係者との具体的な協議をすすめているところです。町とも前向き話し合いができています。幸い時間が生まれましたので、一層よい碑になるよう検討を続けるとともに、測量や整地に予定外の経費がかかることになりそうですので、募金も続けることにします。引き続き皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

※ 募金にご協力いただいた方で、これをお届けできる方にお渡しください。若干部数同封します。ご意見を事務局にお寄せください。



10月2日 測量を入れたら窪島さんの土地に隣接の道路が食い込んでいた(○印が境界点、それから左が所有地)。岩内町議の太田さんと、後ろ向きは現地でいろいろ奔走してくれている大石さん。



10月31日 建立場所を決めるための現地訪問。窪島さんと、後ろ向きの女性は札幌の国田さん。



碑に力を添えたい皆さんへ  
 日頃より、お世話になっております。  
 貴会の活動にたいへんお礼申し上げます。  
 申し分ありません。  
 あとは、今後の取り組みを、お話しさせていただきます。  
 今後、早くも建設を希望しております。  
 引き続き、よろしくお願いいたします。  
 早くも、お礼申し上げます。  
 事務局  
 菊地 大

9月22日 法務局より取り寄せた現況図面にしたがって現地調査カメラを肩にしているのはフォトジャーナリスト山本宗補氏